

ひょうごの福祉

認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

P2 特集

人に寄り添う福祉の仕事～仕事の魅力と人材確保～

P6 「ストップ・ザ・無縁社会」広がれ! 全県キャンペーン

P7 あなたのまちの社協ナビ

西宮市社協

みんなが地域で自分らしく暮らせる共生のまちづくりを目指して
～西宮市社協 地域共生館「ふれぼの」の取り組み～

P8 みんなでつくるひょうごの福祉

「福祉の仕事」の魅力を協働して発信!
～伊丹市社会福祉法人連絡協議会のチャレンジ～

P9 まちとつながる・住民とつながる! 企業・NPOの地域づくりレポート

安心・安全に滞在できるまちは、みんなが住みたいまち
ユニバーサルなまちづくりー特定非営利活動法人ウイズアスー

P10 ひょうごの福祉NOW

P12 インフォメーション

2016

6

No.784

6月は「男女雇用機会均等月間」!
6月1日は「善意の日」だよ!



この機関紙は赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

西脇市

都麻乃郷あじさい園(西林寺)



人に寄り添う福祉の仕事 ～仕事の魅力と人材確保～

「社会や人のために役に立ちたい」「人とのふれ合いを大切にしたい」という思いは誰もが抱く感情ではないだろうか。福祉の仕事は、介護や障害、保育、社会的養護などの分野で専門技術を生かして、生活に困難を抱える人々を支えるやりがいと魅力にあふれた仕事である。

一方、高齢化の進行や待機児童の解消などを背景に、福祉現場では人材不足が大きな課題となっている。

そこで、昨年度に高校や大学等の学生に対して行った意識調査の結果をひもときながら、福祉職場を取り巻く現状と課題を伝えるとともに、本会の活動内容を紹介する。



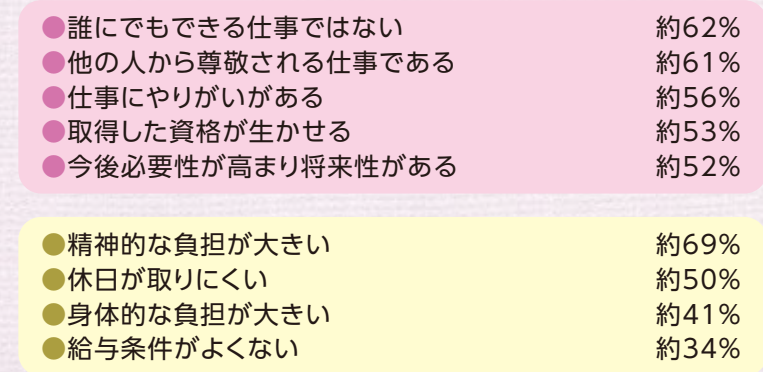
生徒・学生がイメージする福祉の仕事

平成27年度に、兵庫県社会福祉政策委員会と兵庫県福祉人材センターが行った「福祉人材確保・定着に向けた学生の意識調査」では、県内の高校・大学・短大・専門学校に8182人を対象に、仕事や職場への理想や希望、求める条件などを聞き取った。調査には、3903人が回答した(回収率47.7%)。

調査結果(速報)によると、生徒・学生が福祉の仕事に抱く印象として、「仕事にやりがいがある」「取得した資格が生かせる」「今後必要性が高まるので、将来性がある」などが半数以上が福祉の仕事に前向きなイメージや今後の可能性を感じている。

一方、給与条件や休日の取りやすさ、身体的・精神的な負担といった面で、あまりよくないというイメージを持っている回答も見られた(図1)。

■図1 生徒・学生が抱く福祉の仕事のイメージ



福祉職場の現状と取り組み

進む、職場環境の改善・充実
現状を見ると、平成26年度の介護労働実態調査では、「仕事を選んだ理由」として約5割が「働きがいのある仕事だと思ったから」と回答しており、福祉の仕事に魅力を感じた人が従事している。

一方、兵庫県の福祉・介護従事者数等調査によると、福祉職場における職員採用・離職の状況(平成26年度)は、新卒者の約4分の1が採用後1年以内に退職しており(表1)、働きがいを感じながら、継続して働くことができる職場環境づくりが福祉人材の定着と離職防止につながっていくと考えられる。

安心して働ける環境づくりと職員のスキルアップの支援

そのポイントとなるのが、各職場における「労働環境の向上」や「職員研修の充実」、「将来像をイメージできるキャリアパスの策定」だ。

例えば、労働環境向上の取り組みとして、「腰痛対策や感染症対策などの健康管理対策」、「法人・施設独自の福利厚生制度」など、職員が安心して仕事ができる環境整備を推進している状況が明らかになった。(特別養護老人ホームや保育所等への「若者の雇用に関する意識調査」の結果(速報)より)

また、仕事を継続しながら資格取得を促進する制度の創設や、対人援助技術などをテーマに職場内外での研修機会の拡充が行われている。このように県内の法人・施設・事業所でも着実に取り組みが進められており、職場環境の改善・充実とともに、職員の意欲の向上を図ることで、福祉人材の一層の確保定着につなげようとしている。

兵庫県社協の取り組み

さまざまなカタチの出会いの場
県社協では、県内の法人・施設・事業所を支援するため、2020年計画に掲げた「地域福祉を進める組織・福祉専門職養成を支援します」というアクションプランの下、福祉人材センターを中心に、新たな求人の開拓や福祉職場の魅力を広げるための各種事業を展開している。

一つは、福祉職場に就職を希望する生徒・学生等と事業所が面談・就職相談を実施する「福祉の就職総合フェア」は、求職者と事業者の重要な「出会いの場」となっている。また、求職者に福祉の仕事をよく理解してもらうため、福祉職場の体験の機会を提供する「福祉体験学習」を平成21年度より実施している。これまでの参加者は830人を超え、福祉の仕事に親しみを感じてもらおう機会づくりに努めている。



職員から仕事内容を熱心に聞く参加者

平成27年度からは、福祉の職場に関心をもつ高校生や大学生、保護者等が参加できる「福祉のしごと職場見学ツアー」を開催。施設見学や職員の働く様子を実際に見ることで、参加者からは「改めて福祉の職場で働くと思った」「利用者に丁寧に対応している姿が印象的」などの感想が寄せられており、仕事を身近に感じる機会となっている。今年度は10回に回数を増やし、さらなる機会づくりに取り組んでいく。

■表1 平成26年度新規採用・離職の状況

| | 介護保険サービス | 障害福祉サービス | 計 |
|--------------|----------|----------|---------|
| 新規採用者 | 16,576人 | 2,934人 | 19,510人 |
| うち平成26年3月新卒者 | 892人 | 180人 | 1,072人 |
| 離職者 | 15,048人 | 2,472人 | 17,520人 |
| うち平成26年3月新卒者 | 213人 | 34人 | 247人 |

※調査期間:平成27年8月1日～9月14日
出典:兵庫県「平成27年度福祉・介護従事者数等調査」



福祉の仕事の魅力

さらに、高校生や大学生等、これから福祉の仕事への第一歩を踏み出すこととする者を対象に、「福祉の仕事ガイドブック」を配布している。また、「福祉の仕事のPR動画」を制作し、介護施設で働く職員の生の声や、仕事の面白さ、利用者とのふれ合いの様子を発信する。この動画は、兵庫県福祉人材センターのホームページから視聴が可能だ。



教育分野との連携強化

県社協では、次代を担う子どもたちに対する教育への関わりも大切にしている。子どもたちや教員が福祉に対する理解を深め、共に支え合う社会づくりに主体的に参加するよう、兵庫県教育委員会と福祉事業者との懇談会や、教員研修への講師派遣などを通じて、福祉現場の生の声を届けている。

県社協としては、今後も教育機関をはじめ、各関係機関との協働の下、少しでも多くの人に福祉の仕事の魅力を伝えるとともに、「福祉人材の確保・定着・育成」に必要な政策提言等を進めていく。

PR動画より

福祉の仕事の魅力・やりがい

- 「利用者の人生に寄り添う貴重な仕事。人生を幸せに過ごしてもらいたい」
- 「資格取得のサポートがある。働きながらスキルアップすることができる」
- 「職場の理解があり、子育てしながら働き続けられる」

平成28年度 福祉の就職フェア・説明会の日程

求職者と福祉関係事業所の面談の場を設けること、福祉の仕事への理解を促す機会を設けることを目的として、下記の日程で「福祉の就職総合フェア」ならびに「福祉の就職説明会」を開催します。

※就職総合フェアでは、福祉の仕事の魅力が聞ける「福祉の就職ガイダンス」を開催します。さらに、シールラリーも開催!! たくさんのブースを回ってシールを集めた方に、素敵な景品をプレゼントします。

- 参加費無料
- 申し込み不要
- 入退場自由
- 履歴書不要
- 無資格・未経験OK



| 名称 | 開催日 | 会場 |
|-------------------------|------------------|------------------|
| 第1回 福祉の就職総合フェア in HYOGO | 平成28年6月19日(日) | 神戸国際展示場 3号館 |
| 福祉の就職説明会(姫路会場) | 平成28年8月31日(水) | ホテル日航姫路 光琳の間 |
| 福祉の就職説明会(尼崎会場) | 平成28年9月10日(土) | 尼崎市中小企業センター1階ホール |
| 福祉の就職説明会(神戸会場) | 平成28年10月10日(月・祝) | 神戸サンボーホール1階 |
| 第2回 福祉の就職総合フェア in HYOGO | 平成29年3月7日(火) | 神戸サンボーホール全館 |

お役立ち情報

福祉人材センターをご活用ください!

①「福祉のお仕事」ホームページ
～「求職者マイページ」のご案内～

- このサイトには、全国の福祉の求人がたくさん登録されており、いつでも仕事を探すことができます。
- 「求職者マイページ」に登録すると、希望条件に合う求人票を毎日自動で検索し、検索結果は「求職者マイページ」からチェックできます。また、新着求人や就職フェア等のお知らせをメールでもお届けします。



URL <http://www.fukushi-work.jp/>

②福祉体験学習

「福祉に興味はあるけど実際の職場はどんな感じなの?」「どんな仕事に向いているのかわからない」など、悩みや疑問を解決するために、実際の福祉職場を体験してください!

「福祉体験学習」までのステップ

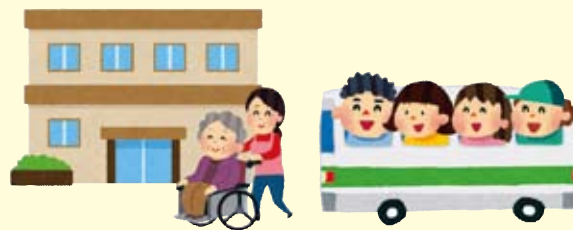
- ステップ1 「福祉体験学習申込書」を兵庫県福祉人材センターへFAXし登録。登録証を発行します。
- ステップ2 受入施設・事業所一覧を基に、ご自身で体験学習を行う施設・事業所を決めます。
- ステップ3 ご自身で施設・事業所へ直接連絡し、体験日時を決定します。決定後、事前に施設・事業所へ「福祉体験学習申込書」の写しを提出します。
- ステップ4 約束の日時に施設・事業所を訪問し、福祉体験学習を行います。

兵庫県福祉人材センターのホームページから、チラシ・申込書・県内受入施設・事業所一覧をダウンロードできます

③福祉のしごと職場見学ツアー

学生や一般求職の方、福祉の仕事に興味はあるが、一歩踏み出せない方などを対象に、県内の福祉施設を巡る福祉施設見学バスツアーを計画しています。詳細は、兵庫県福祉人材センターのホームページ等でご案内します。

- 実施時期 平成28年8月～平成29年2月
- 見学施設 1回あたり2施設程度
- 参加者数 1回あたり10人程度



④兵庫県福祉人材センター facebook

福祉の仕事を探している方に、就職フェアや資格に関する情報などを発信するために、facebookを開設しました。ぜひ、「フォロー」をして最新情報をチェックしてください!

 兵庫県福祉人材センター Facebook はじめました

きっと見つかる



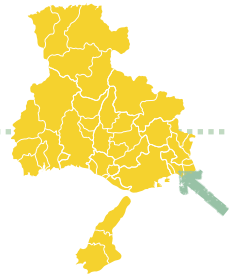
※上記以外の事業でも求職者や事業所の方を応援しています!

【お問い合わせ先】兵庫県福祉人材センター

TEL 078-271-3881、FAX 078-271-3882、E-mail jinzai@hyogo-wel.or.jp

URL <http://www.hyogo-wel.or.jp/work/index.html>





みんなが地域で自分らしく暮らせる 共生のまちづくりを目指して ～西宮市社協 地域共生館「ふれぼの」の取り組み～

西宮市社協では、第8次地域福祉推進計画の中で「みんなで創り出す 共生の『まちづくり』」を福祉目標に定め、障害などがあるけれども、社会的役割があり、自分らしい暮らしができる社会づくりを目指している。今回は、そのモデルとして社協が新たに取り組む、「地域共生館ふれぼの(以下「ふれぼの」)」について紹介したい。

住民や当事者らと共に創る拠点

社協では、これまで小地域での交流の場づくりや、重度障害者の地域活動拠点「青葉園」の実践を軸にしながら障害者の社会参加の支援を積極的に推進してきた。昨今、子どもの貧困や社会から孤立している子育て中の親や若者が増える中、第8次計画では、さまざまな人がつながり、社会的役割やSOSの発見にもなる場づくりの重要性等を提起している。そこで、障害者や高齢者といった対象別ではなく、地域住民や当事者が混ざり合える場として「ふれぼの」は開館した。

建設にあたり、社協が意識したのは「地域に愛される場所にしたい」ということであった。住民や学生、専門職とも協議を重ね、構想段階から一緒に考えることで、社協の管理する建物ではなく、みんなの居場所として愛着を持ってもらえるようにした。

本格カフェオープンに向けたブレイク実施の様子

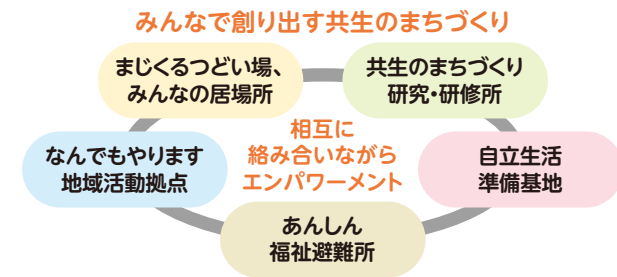


地域共生館(ふれぼの)
西宮市中前田町1-23
TEL 0798-61-1408

みんなが「つどう場」を市内に広げる

「ふれぼの」の建設前には「夕涼み会」「春の宴」等のイベントを建設予定地で開催した。近隣の住民と協力して運営するとともに、青葉園もブースを出展し、住民との交流の場にもなった。この6月には、重度障害者やボランティアと一緒に創り出す地域のつどい場「ふれぼのカフェ」も本格オープンする。カフェをきっかけに、これまで関わりのなかった住民を呼び込み、新しいつながりづくりにつなげていく。

今後、社協では、「ふれぼの」で得たヒントが市内全域で生かされ、地域でつながりが生まれていくことを目指している。「『ふれぼの』は共生に向けた『つどい場』のモデルの一つ。拠点にこだわらず、それぞれの地域にあった場づくりを進めたい」と市社協共生のまちづくり課の音川礼子氏は力強く語る。可能性に溢れる「ふれぼの」の今後を期待せずにはいられない。



取材を終えて

住民公募が多かった「ふれあいほのぼの」からつけたという名前の通り、人との触れ合いが身近に感じられる場所でした。

取材中、コーヒーを入れてくださった皆さんの、とても生き生きとされていた顔が印象に残りました。「ふれぼの」は役割づくりの場にもなっているのだと感じました。

理事長から 西宮市社会福祉協議会 理事長 北川 悦久

西宮市社協では、第8次計画の地域福祉目標として「みんなで創り出す共生の『まちづくり』」を掲げており、その2年目となる今春4月に「地域共生館 ふれぼの」を開館しました。共生のまちづくりに向けたモデル的な拠点として、地域住民、当事者、専門機関、行政等、さまざまな人や団体を巻き込んだ活動を、少しずつですが展開し始めています。

「共生」とは、人と人がお互いの存在を尊重し合い、対等な関係を築きながら、一人一人が自分の役割と居場所をもって、共に生きていくことです。

本当の「共生社会」の実現に向けて、この「地域共生館 ふれぼの」での活動実践を全市域に広げていくことを目指して、これからも積極的に活動してまいります。



「ストップ・ザ・無縁社会」
広がれ! 全県キャンペーン
<http://stop-muen.jp>

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの最新情報や、支え合いのメッセージをお伝えします。

TOPICS

4年間の主な取り組み

無縁社会に対する警鐘を鳴らす取り組みとして、平成24年6月の推進協議会発起人会の開催を経て、県内の福祉・経済・労働など分野の異なる18団体を幹事団体としてスタートしました。県域・市町域などさまざまな場面・方法で「つながり、支え合うことの大切さ」について発信し、皆さんと共に考えてきました。

平成28年度は講演会・フォーラムなどの啓発活動や、地域における見守り・支え合いの活動が一層広がるよう取り組みを進めていきます。

- 推進団体 **280団体** (平成28年3月31日現在)
- 機関紙「ひょうごの福祉」特集記事の掲載 (平成24年7月号～平成28年3月号) **計33回**

- 総会・記念講演会、各種フォーラム等の参加者 **約30,000人**
- 専用ホームページのアクセス数 **約37,000件**

平成24年度

- 「推進協議会設立総会・記念講演会」を開催
- 「第6回全国校区・小地域福祉活動サミット」を開催(協賛)

広報・情報発信を開始

- 機関紙「ひょうごの福祉」にて特集記事、連載コーナーを掲載
- 専用ホームページ、Facebook、Twitterによる発信

啓発グッズの作成・配布を開始

- パンフレット、のぼり、うちわ、クリアファイル、PRパネル等

平成25年度

- 新たに幹事団体と市町社協が取り組む「地域フォーラム」(13団体)を開催
- 「ふれあいの祭典」に初出展
- 「ひょうご安全の日のつどい」に初出展



ふれあいの祭典で幅広い世代にPR!

平成26年度

- 新たに幹事団体による「推進フォーラム」(3団体)を開催



大人も子どもも一緒になってキャンペーンの取り組みを広げていきます

平成27年度

- 「支え合いのまちづくり推進フォーラム」を開催



家族、地域、職場のつながりを構築し、支え合う社会を目指す気運が高まりました

キャンペーンに寄せられたメッセージ

- 地域の一体感をつくること、人と人との縁をつくること^{えにし}が何よりも大切である。
- 家族・親戚の関係やつながりを大切に、向こう三軒両隣の地域力を取り戻せたらと思う。
- 自分の役割を見つけよう。「私にできることはない」...? そんなことはないはず。自分にできることを少しすればいい。
- 今は縁側で語り合うことも少なくなり、空き家も増加した。地域を挙げて対応する必要がある。

みんなで作る ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする
取り組みを紹介します。



伊丹市内の社会福祉法人同士が協力して地域公益活動を推進する「伊丹市社会福祉法人連絡協議会(以下「連絡協議会」)」では、福祉の仕事の魅力を伝えるリーフレットを作成するんだって。地元の中学生・高校生にも、福祉の仕事を知ってもらって、福祉の仕事のイメージアップや福祉学習にもつなげていこうと考えているよ。

法人連携のアプローチ 「福祉人材の確保」

伊丹市では、平成20年度より市内の社会福祉法人が集まり、住民が抱える生活・福祉課題への対応や社会福祉法人の地域公益活動を推進する場づくりを進めている。現在は福祉現場で共通の課題となっている「福祉人材の確保」に向けて力を注いでいる。

「個々の社会福祉法人では解決が難しい共通の課題は、法人同士がつながってアプローチしていくことが重要」と、連絡協議会の河原さん(社会福祉法人明照会理事長)は語る。

福祉の仕事は、クリエイティブ
幅広い世代の人に福祉の仕事に就いてもらうための第一歩は、地域住民や子どもたちに興味や関心を持ってもらうことだ。福祉の仕事の魅力や共同発信するため、平成27年度から各法人の若手職員によるワーキングチームを結成し、リーフレットの作成を進めている。企画の場面では、福祉の仕事のイメージアップにつながるよう、福祉の職場で生き生きと働く魅力的な人たちの思いや趣味、プライベートに関

「福祉の仕事」の魅力を協働して発信!

～伊丹市社会福祉法人連絡協議会のチャレンジ～



7月のイベント、リーフレットの作成に向けてワーキングチームの議論にも熱が入ります!

するインタビューなどを盛り込むと多様なアイデアが飛び交う。河原さんは、「子どもたちの将来の夢の中に、『福祉の仕事』が挙がってほしい。これからは社会福祉法人の取り組みが、地域を創る仕事の代表になるような『福祉の仕事』のブランド戦略を持つことが必要だ。特に地元で働きたい人に向けて、地域の安心・安全の一翼を担うクリエイティブな仕事として、福祉の仕事の魅力や発信していきたい」と意気込む。今後は、市内の中学校・高校との連携を強化するとともに、7月には大型ショッピングモールでのPRイベントなども予定している。

取材を終えて

伊丹市内の社会福祉法人は、今までも法人間のつながりを大切に活動してきました。高齢、障害、保育といった種別を越えて一致団結した社会福祉法人連絡協議会の新たな取り組みは、地域福祉のより一層の推進につながっています。

ついて、事務局を担う伊丹市社会福祉協議会の白井地域福祉推進室長は、「生活困窮や災害時の支援、地域づくりといった地域の生活・福祉課題は、行政や自治会、民生委員・児童委員だけでなく、NPOや社会福祉法人なども一緒になってみんなで考えていく必要がある。社会福祉法人が協働して地域の公益活動を担うことができれば」と話す。連絡協議会の情報発信により、みんながつながり、地域福祉が一層推進できるようなネットワークづくりが期待される。

伊丹市社会福祉法人連絡協議会事務局
伊丹市社会福祉協議会
伊丹市広畑3-1 いたみいきいきプラザ2階
TEL 072-779-8512

まちとつながる・住民とつながる! 企業・NPOの地域づくりレポート

安心・安全に滞在できるまちは、みんなが住みたいまち ユニバーサルなまちづくり — 特定非営利活動法人ウィズアス —

障害がある人の自立生活をサポート シェアハウス「Re-Smile」

特定非営利活動法人ウィズアスは、阪神淡路大震災の経験を通して「生まれ育った町で、くぐり当たり前に暮らしたい」という障害のある仲間たちの思いを原動力に、平成14年に設立された。デイサービスや作業所を運営する中で、日中活動の支援だけでなく、自立に向けた取り組みの一つとして、平成26年にシェアハウス「Re-Smile」を神戸市長田区に設立した。

ここでは時間に縛られることなく、食事や風呂、外出など入居者は思い通りに過ごす。外出介助やヘルパーなどのサポートは、本人が必要となるときに受けることができ、フリースペースで各々が持っている地域の情報を交換している。

また、地域交流の場として月1回「ちいきCafe」を開催。カフェとしてのメニュー提供のほか、デイサービスで製作した雑貨や丹波地域の新鮮野菜の販売、フ



自立生活の拠点
シェアハウス「Re-Smile」

神戸ユニバーサルツーリズムを 県内へ、全国へ

リーマーケット等、入居者が各々で考案した内容を皆で相談しながらつくり上げる。他にも地域のボランティアによる「おかん食堂」を開店し、地域のたくさんの方々と交流を深めている。

同法人の事業の一つである「神戸ユニバーサルツーリズム」では、障害のある当事者がサービスを受ける側でなくサービスを提供する側に回ることで、旅行のお手伝いを行っている。具体的には、年間1000台近くの利用がある「KOBEBE」でも車いすの貸し出しや、車いす利用のスタッフによる「コンシェルジュ」の取り組みを通じて、当事者ならではの目線で車いすでも利用しやすい道や店、エレベーターやトイレの場所などを案内している。加えて、障害のあるスタッフが取材を行って記事を書き、スムーズに観光を楽しめる情報誌「ひと」を発行している。

ツーリズムの利用者が年々増加してい



ツーリズムから「まちづくり」
「車いすコンシェルジュ」

中間支援団体の役割は ネットワークをつなげること

上記2つの実践に加えて、中間支援事業や生きがいごとサポート事業は3年目に入った。団体や個人がもつ悩みは、一つだけでは解決できない。地域のネットワークで解決することができると。そのネットワークをより広げる役目が、中間支援団体の役割だと、鞍本理事長は力強く話してくれた。

特定非営利活動法人ウィズアス
所在地 神戸市長田区水笠通4-1-12-2F
TEL 078-642-0799
URL <http://npo-withus.org/>
神戸ユニバーサルツーリズムセンター
TEL 078-381-6470

経営協総会・記念講演会を開催
改正社会福祉法への対応セミナーも同日開催

5月12日、兵庫県社会福祉法人経営者協議会の第36回総会・記念講演会が県福祉センターで開催され、100人の参加があった。

今年度の総会は、「改正社会福祉法が本年3月31日に成立したことを受けて、開催内容を充実させ、改正法の最新動向とその対応を学ぶことを目的に「制度対応セミナー」を午前中に開催した。

セミナーでは、県社会福祉課の上西真一法人指導参事より兵庫県が作成した「改正社会福祉法の概要」に基づき、改正法の概要と具体的な対応内容について解説。続いて、兵庫県包括外部監査人の坂井浩史公認会計士から「社会福祉法人の財務から見た経営課題とガバナンス」と題し、平成26年度に実施した包括外部監査の結果から見えた経営課題と、改正法におけるガバナンスの強化に向けた提案について講義をいただいた。



社会福祉法人の経営実態や会計監査人設置のポイントについて具体的に説明する坂井公認会計士

午後からの総会では、婦木治会長の挨拶の後、井戸敏三兵庫県知事から、法改正を機会に社会福祉法人としての経営の透明性を高め、県民から信頼に応えるよう、社会福祉法人への期待と激励の祝辞をいただいた。

総会の議事では、平成27年度事業報告・決算、平成28年度事業計画・予算が原案どおり承認された。また、経営協の組織基盤強化に向けた会費改定についても、平成29年度から実施することが承認された。

総会後の記念講演では、石川県金沢市で多世代共生のまち「シェア金沢」の取り組みを進める社会福祉法人佛子園の雄谷良成理事長を招き、「生涯活躍のまち」で描く

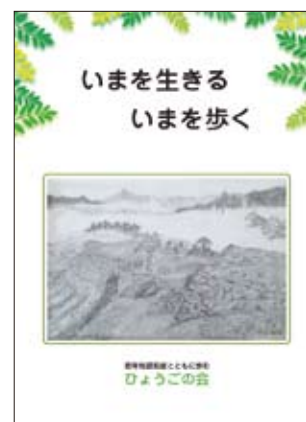
「JAPAN WAY」と題した講演をいただいた。講演の中で、佛子園では社会福祉法人が地域のまちづくりの主体として、福祉施設が核となった住民自治・多世代交流のまちづくりを進めており、「一億総活躍社会」のモデルになっていることにも触れられた。



「社会福祉法人は地域と向き合うことが大切」と強調する雄谷氏

「若年性認知症とともに歩むひょうごの会」が冊子を発行

若年性認知症の本人、家族、友人、支援者などで構成する「若年性認知症とともに歩むひょうごの会」が昨年12月に発足した。同会では、認知症を体験している本人だからこ



そ気付けることを共有し、共に歩む仲間とのつながりを築くとともに、ケア・社会の在り方など認知症になっても希望を持って暮らし続けることができる社会を目指して活動している(本紙4月号で紹介)。

このたび同会の発足までの歩み、若年性認知症の本人やパートナーたちの声をまとめた冊子「いまを生きるいまを歩く」を発行した。

お問い合わせは、ひょうご若年性認知症生活支援相談センター TEL 078・242・0601まで。

本人の声

- 仕事について
仕事はもうしていない。仕方がないと思っている。でもあの時、誰かが少し背中を押してくれていたら辞めずに済んだかもしれない。
- 病気の受け止め
認知症といわれて驚き、自分が何もできなくなるのではないかと怖くなった時期もある。
- これから
「後ろを振り返らずに、前を向いて歩こう!」と約束したんだ。病気に負けずに毎日を楽しみたい。

平成28年熊本地震被災地支援活動レポート

熊本県熊本地方を震央とする4月14日の前震(M6.5)、同月16日の本震(M7.3)は、熊本県を中心に甚大な被害をもたらした。被災地および兵庫県内で行われている民間福祉関係者の支援活動を連載で報告する。

※記載データは全て5月25日時点

熊本地震の特徴

震源が浅く、局地的に非常に強い揺れが発生した。震災関連死を含む死者69人、住宅被害は10万1747棟におよび、最大時18万人を超えた避難者は、現在も8864人が194カ所の避難所で生活している。「車中泊」の避難者数などは、つかみきれないのが実情だ。

1500回を超える震度1以上の余震に耐えながら、被災地では生活再建を進めなければならない状況にある。

災害ボランティア活動

熊本地震では、ボランティアニーズや道路事情等を考慮し、ボランティア募集を県内在住者に限定する市町村もある中、特に被害が甚大な熊本市、益城町、西原村は、県内外から広く募集し、ゴールデンウィークを中心に全国から活動希望者が殺到した。

兵庫県内からは、関西広域連合で支援する益城町や、交流のある市町村に、発災直後から県社協や複数の市町社協の職員が物資提供や専門職派遣などの独自の支援を行っている。

4月27日より、熊本県社協の要請のもと、県社協および県内市町社協は西原村で災害ボランティアセンターの運営等を支援しており、1か



被災者の生活復興はこれから



災害ボランティアセンターに集まるボランティア

動している(滋賀県、京都府、奈良県社協との共同支援)。

また、ひょうごボランティアプラザや5市町社協がボランティアバスを運行し、避難所や個人宅でのボランティア活動を支援した。

5月中旬より、特に平日に現地活動できるボランティアが減少し、住民への支援にも影響している。被災地では、ボランティアバスに期待しており、これまで現地事情を配慮して見合わせていた複数の市町社協も運行を予定している。

今、兵庫県内で行えること 義援金募集中!

| 平成28年熊本地震災害兵庫県義援金 | 平成28年熊本地震義援金 |
|---|---|
| 兵庫県、県議会、県地方4団体、県社協ほか | 中央共同募金会 |
| □座名義(共通): 「平成28年熊本地震災害兵庫県義援金」 ■三井住友銀行 神戸公務部 (普通) 3052755 ■兵庫県信用農業協同組合連合会 本店 (普通) 0014208 ■みなと銀行 本店営業部(普通) 1929443 ■但馬銀行 神戸支店(普通) 9831681 ■ゆうちょ銀行 00940-9-332293 | ■三井住友銀行 東京公務部 (普通) 0162585 「(福)中央共同募金会熊本地震義援金」 ■りそな銀行 東京公務部 (普通) 0124323 「(福)中央共同募金会」 ■三井住友信託銀行 本店営業部 (普通) 0180014 「(福)中央共同募金会」 |
| 振込手数料や受付後の取り扱いなど、詳しくは県社協ホームページ「災害救援活動情報」をご覧ください。 | |
| 募集期間:平成28年6月30日(木)まで | |

次号では、県内社協とNPOらの協同による熊本県西原村での支援活動と、介護等が必要な高齢者や障害者等への福祉救援活動を中心に報告する。

被災地でのボランティア活動は「熊本県災害ボランティアセンター」(熊本県社協)のホームページを検索

助成金情報

福祉活動等に対する助成金の情報です。詳細は、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
平成28年度自動車購入費助成

対象 西日本地区に所在する特定非営利活動法人、社会福祉法人で、主として障害者の福祉活動を行う団体
助成額 1件100万円まで(総額1,000万円)
締切り 平成28年7月15日(金)消印有効
問合せ 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団 TEL 03-3349-9570
URL <http://www.sjnkwf.org/>

一般財団法人長谷川福祉会
平成28年度助成事業

障害者を対象とした①施設の建設・修理・改造および備品の購入、②団体・ボランティアグループ等が行う社会福祉活動に助成します。
対象 障害者を対象とした施設・団体で、総購入資金・事業費の15%以上の自己資金が用意できることなどの条件を満たすこと
助成額 ①施設の建設・修理・改造:1件上限200万円、備品の購入:1件上限50万円②社会福祉活動事業・資材:1件上限50万円
締切り 平成28年7月25日(月)
問合せ ①兵庫県社会福祉事業部 TEL 078-242-4635
②兵庫県社会福祉協会の地域福祉部 TEL 078-242-4634
URL <http://www.hasegawafukushikai.jp/>

一般財団法人松翁会
平成28年度社会福祉助成金

社会福祉に関する民間の事業に助成します。
対象 原則法人・団体であり、次の基準を満たすこと①障害者の福祉向上案件、および難病案件、虐待防止案件であること②明確な企画(目的、内容、資金使途等)に基づく事業で具体的な計画を持つこと③推進体制が確立しており、自己資金の調達に努力をしていることなど
助成額 1件10万円以上60万円以内(総額700万円以内)
締切り 平成28年7月29日(金)必着
問合せ 一般財団法人松翁会
TEL 03-3201-3225
URL http://shouohkai.or.jp/zaidanhojin_shououkai/

社会福祉法人清水基金
平成28年度一般助成事業

障害児・者福祉の増進を目的として運営してい

る民間社会福祉法人の諸事業に助成します。
助成額 原則1件100万円以上800万円以内(総額2億6,000万円を予定。助成件数60~70件程度)※原則申し込み法人が事業費の30%以上を負担

締切り 平成28年7月31日(日)必着
問合せ 社会福祉法人清水基金
TEL 03-3273-3503
URL <http://www1a.biglobe.ne.jp/s-kikin/>

募集

第14回高校生福祉文化賞
エッセイコンテスト

「わたしと福祉」をテーマにしたエッセイを募集します。
応募資格 高校生
募集分野 ①ひと・まち・暮らしのなかで②スポーツとわたし③日常のなかでつながる世界④社会のなかの「どうして?」

作品規定 上記の4つの分野から1つを選び、題名を付け、800字以内のエッセイにまとめる
賞 最優秀賞(各分野から1点ずつ):賞状・副賞(奨学金10万円)・記念品、優秀賞(各分野から2点ずつ):賞状・副賞(奨学金5万円)・記念品、審査員特別賞(各分野から1点ずつ):賞状・副賞(奨学金3万円)・記念品、学校賞(優れた作品を多く寄せいただいた高等学校)

締切り 平成28年7月30日(土)消印有効
問合せ 日本福祉大学 TEL 052-242-3045
URL <http://www.n-fukushi.ac.jp/50th/essay/boshu16/>

研修・イベント

未来につながる!
福祉人財の育成推進セミナー

日時 平成28年8月2日(火)13:00~16:45
会場 県民会館11階 パルテホール
受講料 無料
定員 100人
締切り 平成28年7月13日(水)必着
問合せ 兵庫県社会福祉研修所
TEL 078-367-3001

平成28年度介護支援専門員実務研修
受講試験対策模擬試験

主催 一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会
日時 平成28年8月6日(土)10:00~17:00
会場 兵庫県農業会館 10階
受講料 兵庫県老人福祉事業協会の会員事業所の職員3,000円、その他10,000円
定員 120人

締切り 平成28年6月30日(木)必着
問合せ 中央法規出版株式会社 大阪営業所
TEL 06-6351-9079

行事予定

- 6月**
- 8日 若年性認知症家族介護者連絡会 ◆県福祉センター
 - 9日 保育所新任保育士研修 Aコース ◆県社会福祉研修所
 - 13日 県地域包括・在宅介護支援センター協議会 総会・記念講演会 ◆新長田勤労市民センター
 - 14日 老人福祉施設新任職員研修 Bコース ◆県社会福祉研修所
 - 16日 障害福祉施設新任職員研修 Bコース ◆県社会福祉研修所
 - 17日 第1回県内社協事務局長会議 ◆県福祉センター
 - 19日 第1回福祉の就職総合フェア in HYOGO ◆神戸国際展示場
 - 20日 経営協第2回地域福祉推進委員会 ◆県福祉センター
 - 21日 第1回社会福祉政策委員会 ◆県福祉センター
「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン幹事会 ◆県福祉センター
 - 23日 県ホームヘルプ事業者協議会 総会・管理者研修 ◆県福祉センター
 - 24日 経営協第239回理事会 ◆県福祉センター
老人福祉施設新任職員研修 Cコース ◆県社会福祉研修所
 - 27日 保育士新任保育士研修 Bコース ◆県社会福祉研修所
- 7月**
- 11日 保育リーダーゼミナール(全4日間) ◆県社会福祉研修所
 - 21~22日 相談面接技術研修 初級・Aコース ◆県社会福祉研修所
 - 22日 経営協7月例会・制度対応セミナー ◆ANAクラウンプラザホテル神戸
 - 26日 相談面接技術研修 中級・Aコース(全2日) ◆関西学院大学
 - 27日 相談面接技術研修 中級・Bコース(全2日) ◆関西学院大学
社会福祉援助基礎研修 Aコース(全2日) ◆県社会福祉研修所

あらゆる自然災害の「もしも」に備えて
兵庫県が実施する「住まい再建のしくみ」

フェニックス共済

~兵庫県住宅再建共済制度~



小さな負担で 大きな安心!

フェニックスサポーター
はばたん

| 区分 | 年額負担金 | 被害認定 | 最高給付金 |
|--------|--------|-----------------|-------|
| 住宅再建共済 | 5,000円 | 半壊以上 | 600万円 |
| 一部損壊特約 | 500円 | 一部損壊(損害割合10%以上) | 25万円 |
| 家財再建共済 | 1,500円 | 半壊以上又は床上浸水 | 50万円 |

(公財)兵庫県住宅再建共済基金 神戸市中央区下山手通5-10-1
コールセンター TEL 078-362-9400(平日9:00~17:00)

フェニックス共済 検索

現状の制作物を一新したい
新しい情報を伝えたい
そんなとき、ご相談ください。



Advertising, Editorial & Web Design

カタログ、パンフレット、情報誌、ロゴ、広告などの
企画・制作

神戸市中央区海岸通8番 神港ビルディング5F
TEL 078-331-5255 FAX 078-331-7800
<http://www.idee-kobe.co.jp>

株式会社 イディー

イディー 神戸 検索